

## 2 酒匂川総合土砂管理プランの考え方

### (1) 酒匂川総合土砂管理プランとは

酒匂川総合土砂管理プランは、様々な面で県民の暮らしを支えてきた酒匂川を次世代に継承していくために、土砂環境の回復・保全を目的とし、そのための基本方針と目標、目標達成に向けた対応策や仕組みなどを示すものである。

なお、時間的・空間的な拡がりをもった土砂移動の場（流砂系）を健全な環境に回復・保全するためには、流域全体で関連する各管理者が様々な対応策を実施することが必要かつ効果的であるため、河川管理者のみならず、森林、砂防、ダム、堰、海岸の各管理者の協力を得て本プランを策定した。

### (2) 酒匂川流砂系における総合的な土砂管理の基本方針

酒匂川流砂系における総合的な土砂管理は、土砂生産域・ダム域・河道域・海岸域それぞれの土砂移動の特性（量・質・時間）を踏まえて、土砂の移動による災害を防止し、生態系・景観等の河川・海岸環境を回復・保全するとともに、河川の水や海岸の砂浜等を適切に利活用することにより、安全で自然豊かな社会の実現を目指していく。

そこで、酒匂川流砂系の土砂管理の方向性を示すため、「第4回酒匂川水系土砂管理検討委員会（平成18年6月）」において、酒匂川流砂系における総合的な土砂管理の基本的な考え方が示され、『治水・利水安全度を向上させながら、生態系に配慮した土砂環境の改善を目指す』ことを総合的な土砂管理の基本方針とした。

### (3) 酒匂川総合土砂管理プランとSDGs

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年（平成27年）9月に国連で採択されたアジェンダで、貧困、健康福祉、気候変動など17の目標と169のターゲットを掲げ、世界のすべての国や民間セクターに、このアジェンダに沿った行動を求めている。

「治水・利水安全度を向上させながら、生態系に配慮した土砂環境の改善を目指す」ことを基本方針とする本プランは、「気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力の強化」をターゲットの1つとして掲げるSDGsと理念を共有するものである。

引き続き、本プランを推進することにより、持続可能な社会の実現を図り、世界的な課題の解決にも役割を果たしていく。

(4) 酒匂川総合土砂管理プランの概要

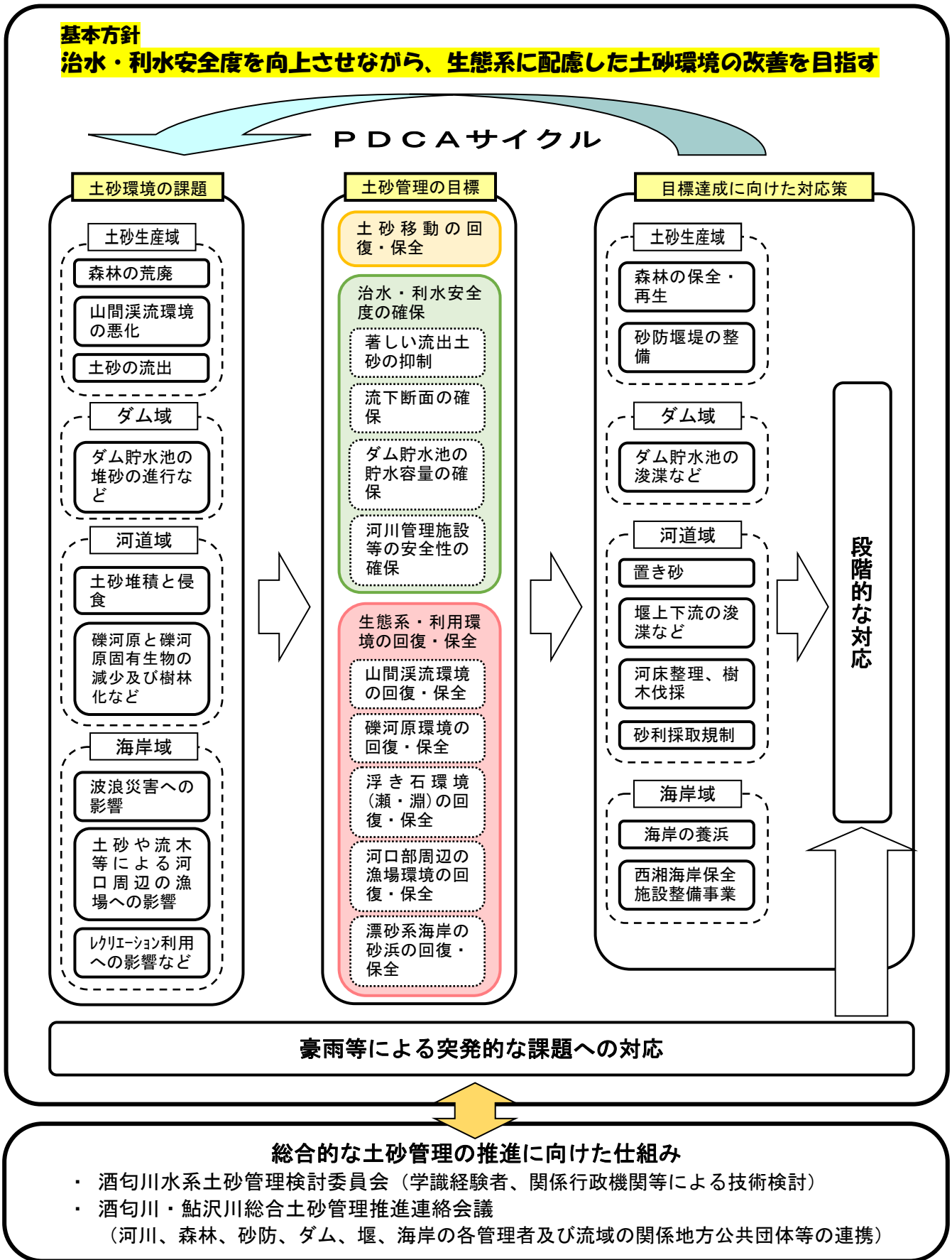


図1 酒匂川総合土砂管理プランの概要図

## (5) 酒匂川総合土砂管理プランと水循環

酒匂川流砂系では、土砂生産域における森林の荒廃や山腹崩壊等による土砂の流出により、三保ダムは、建設時の想定を上回るペースで堆砂が進み、治水安全度、水供給量の低下の恐れがあるほか、河道域においては、ダム下流への土砂供給量が減少することに伴い、河床の粗粒化（アーモークート化）が進み、礫河原や浮石環境の減少など、生物の生息環境の変化による生態系への影響も懸念されている。

一方、水循環基本法に基づく国の水循環基本計画においては、「健全な水循環」の維持のために、貯留・涵養機能の維持及び向上を図ることや、治水や利水との整合を図りながら、流域の特性に応じた水量、水質、水生生物などの水環境の保全に努めていくことが求められている。

したがって、酒匂川流砂系においては、本プランの基本方針に基づき、総合的な土砂管理に取り組むことにより「健全な水循環」の維持・回復を実現していく。

## (6) 主な改定内容

本プランでは、計画策定後約5年を第1段階、その後の概ね5年間を第2段階、さらに、その後を第3段階とし、実施段階ごとに点検と再検討を行った上で次の段階に進むこととしている。

平成29年度末で計画策定後5年が経過することから、第1段階の対応内容を点検し、平成30年度を初年度とする第2段階以降の対応を再検討した上で、本プランを改定することとした。

今回の改定では、第2段階の取組として、河道域において、三保貯水池に堆積した土砂を人為的に河川内に置いて水の力により下流に流す「置き砂」を試行するとともに、海岸域において、海岸保全施設の整備と養浜により砂浜の回復を図る国直轄の西湘海岸保全施設整備事業を位置づけた。

また、平成26年に水循環基本法が制定されたことを受け、本プランに基づき、総合的な土砂管理に取り組むことにより「健全な水循環」の維持・回復を実現していくこととした。

### (1) 土砂移動の回復・保全

出水による流量の変動や河川の攪乱（例えば河床の砂礫の移動）など、河川そのものが持つ自然の力により、連続した土砂の流れの回復・保全を目指す。

### (2) 治水・利水安全度の確保

著しい流出土砂の抑制、流下断面の確保、ダム貯水池の貯水容量の確保など、治水・利水安全度の確保を目指す。

### (3) 生態系・利用環境の回復・保全

山間溪流環境、礫河原・浮き石のある河川環境、河口や海岸の環境を回復・保全し、それぞれの地域で特有の生態系と利用環境の回復・保全を目指す。

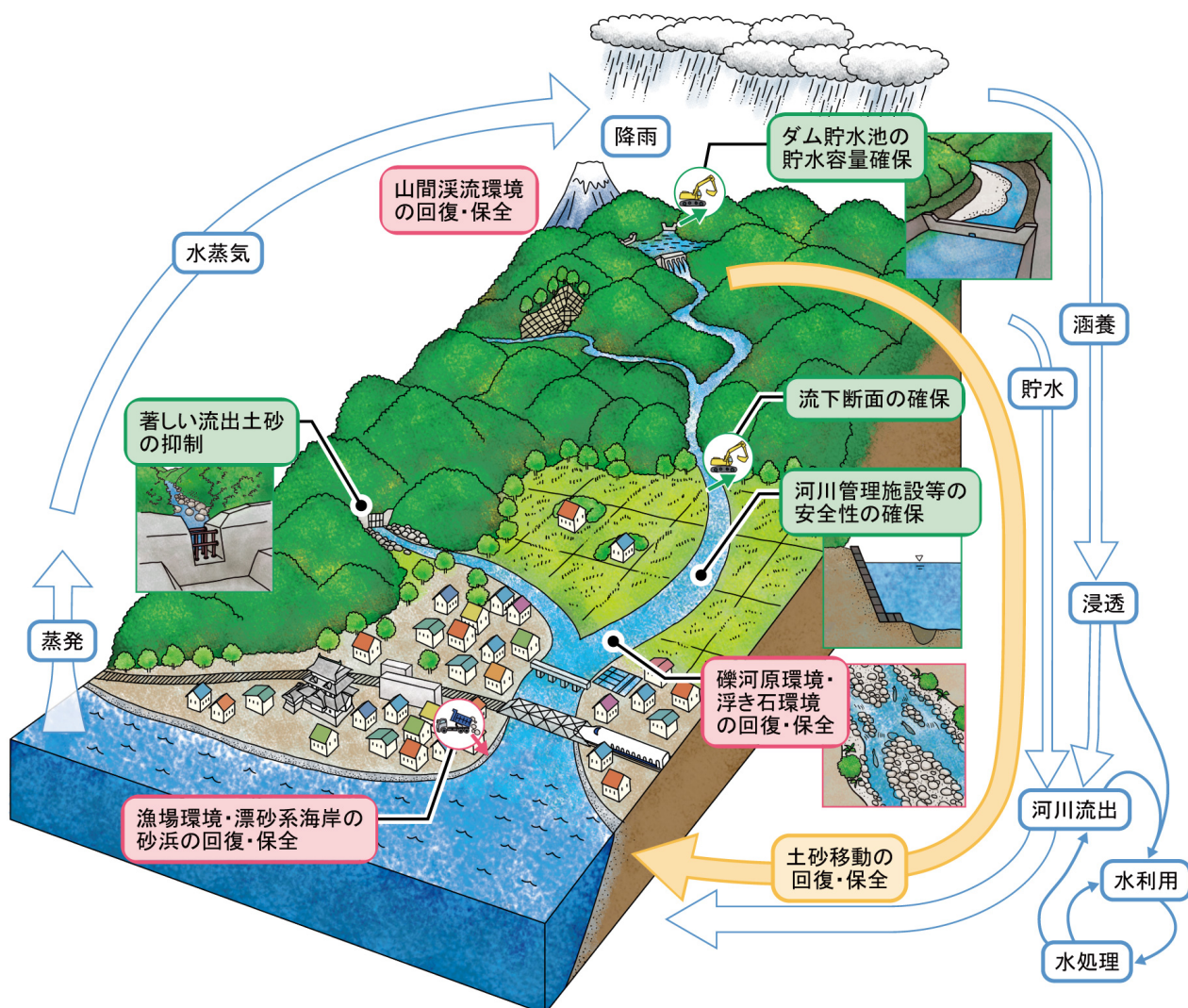


図2 流砂系における土砂管理と水循環の概念図